

よこすか E C O 通信



第38号(令和2年9月)

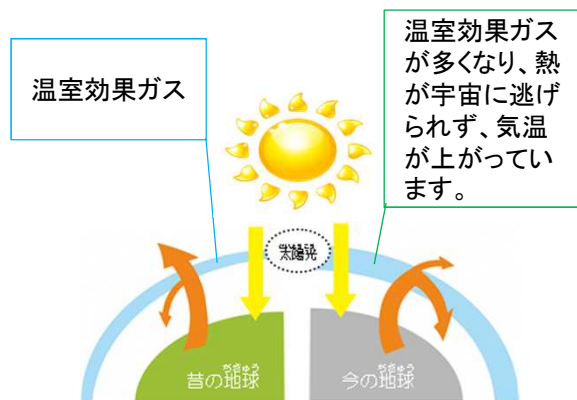
発行: 横須賀市、環境教育・環境学習ネットワーク会議

地球温暖化と気候変動 ～ 考えてみよう わたしたちができること ～

地球は、太陽のエネルギーによって温められています。温められた地球からは、多くの熱が宇宙に逃げていきますが、一部の熱は地球を取りまく水蒸気や二酸化炭素などの温室効果ガスに吸収されて地球上に残ります。そのため、地球の気温は生物が生きていきやすい温度に保たれています。ところが、温室効果ガスが多くなりすぎると、熱が宇宙に逃げられず、地球の気温が上がってしまいます。これが「地球温暖化」です。

最近では、ゲリラ豪雨や大型化した台風による被害や災害、また、気温の上昇による熱中症の発生などが多くなってきていますが、これらは地球温暖化が原因とされる気候変動によるものと言われ、わたしたちの生活や自然の生態系などにも様々な影響を与えています。

これまでの温室効果ガス排出量を削減する取り組みとともに、こうした被害や災害からわたしたち自身が身を守っていくことも必要です。



「緩和策」と「適応策」

地球温暖化の原因とされる温室効果ガス排出量を削減する取り組みを「緩和策（かんわさく）」と言い、被害や災害から身を守っていく取り組みを「適応策（てきおうさく）」と言います。わたしたちは日常生活の中で、以下のような取り組みや備えをしていくよう心がけましょう。

緩和策

温室効果ガス排出量を削減する

- ・省エネや節電
- ・家電製品を購入するときに環境にやさしい製品を選ぶ
- ・再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用

適応策

被害や災害に備える

- ・《気温上昇》水分補給や適切なエアコンの使用で熱中症予防！
- ・《大雨》天気予報や防災アプリの活用、ハザードマップの確認！
- ・《健康》病気を運ぶ蚊などには虫よけスプレーの活用や蚊が育つ水場を作らない！

2面は秋の環境学習講座などのお知らせ、3面は第31回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞について、4面は季節の自然図鑑（今回は「夏の夜に現れる！砂浜のハマダンゴムシ」）を掲載しています。



秋の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

〇トピックス展示

基礎から学ぼう昆虫学成果展

日 時 9月26日(土)～11月29日(日)

場 所 博物館本館1階展示室

「基礎から学ぼう昆虫学」の2020年度受講生及び講師による成果として、昆虫標本やスケッチ、写真、観察レポートなどを展示します。



〇おうちで博物館 めりえ+ (プラス) 展示

日 時 9月26日(土)～11月29日(日)

場 所 博物館本館3階ラウンジ

今夏募集した「おうちで博物館めりえ+ (プラス)」の応募作品を展示します。

《表彰式》※選考による受賞作品を博物館で表彰します。

日 時 11月1日(日) 10:00～12:00

〇天神島ガイドツアー

日 時 10月25日(日) 13:00～14:00

場 所 天神島臨海自然教育園

定 員 20人(小学生以下は保護者同伴)

参加費 50円

その他 申込不要。天神島ビジターセンター入口に集合。天神島臨海自然教育園の見どころを現地スタッフが紹介します。(雨天中止)



〇ナイトミュージアム

日 時 10月24日(土) 18:30～20:30

場 所 本館

定 員 抽選80人

締 切 10月10日(土)

その他 事前申込制



中学生以下は保護者同伴、市内在住の人を優先。

ふだんは見られない夜の博物館内を見学できます。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、変更や中止になる場合があります。

申込方法 締切日までに往復はがきに下記の事項を記入して下記宛先へ

往信面 参加希望者全員(家族のみ)の住所・

氏名・年齢・電話番号

返信宛名①参加者(代表者)の住所②氏名

返信面には何も記入しないでください。

宛先・問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

電話: 046-824-3688

e-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育指導者」に登録しませんか

市内の小学校や保育園などで、環境に関する講話や授業を行う「環境教育指導者」を募集しています。

対 象 環境カウンセラー・環境学習リーダー・アィクルマイスターの資格を持つ**市民の方**、環境活動や環境の取組を行っている**市民活動団体・市内企業**

問合せ先

横須賀市環境政策部環境企画課総務係

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話: 046-822-8327

e-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp



オンライン講座「自然史から考える環境問題」

近年注目されている身近な自然に関するトピックスについて学び、環境問題について考えます。【全3回】

日 時・内 容

①10月31日(土) 10:00～12:00

「ウミガメなど漂着生物から考える環境問題」

講師: 石井雅之さん(観音崎自然博物館協力研究員)

②11月7日(土) 10:00～11:30

「夏なのに紅葉!?ナラ枯れの基礎知識」

講師: 谷脇徹さん(神奈川県自然環境保全センター)

③11月14日(土) 10:00～12:00

「ハゼ学入門」

講師: 林公義さん(横須賀市自然・人文博物館元館長)

定 員 20名(3回ともお申し込みの方優先)

参加費 無料

締 切 10月19日(月)(必着)

その他 事前申込制

申込方法: Eメールのみ

①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号⑤講座名(自然史)⑥参加希望の回をご記入ください。

※市内在勤・在学の場合はその旨ご記入ください。

※本講座はWEBセミナーシステム「Zoomウェビナー」を使用し、受講生は自宅などから参加します。

パソコン・スマホなどが必要です。

問合せ先

北下浦コミュニティセンター

〒239-0842 横須賀市長沢2-7-7

電話: 046-849-2866

e-mail: siph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀エコツアー

巡るだけでは味わえない横須賀の魅力をエコツアーガイドがお伝えします。

《募集中のエコツアー》

〇万葉植物観察会

日 時 10月31日(土) 10:00～12:30

場 所 県立観音崎公園

定 員 10人(小学生以上)

申 込 10月15日(木)～10月29日(木)

〇観音崎砲台跡&走水低砲台跡見学

日 時 11月15日(日) 10:00～12:30

場 所 県立観音崎公園ほか

定 員 10人

申 込 10月20日(火)～11月13日(金)

申込方法

申込期間内に①参加希望者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を電話、FAX、Eメールで観音崎公園パークセンターへ。

電話: 046-843-8316 FAX: 046-844-4150

e-mail: info-kanonzki@kanagawaparks.com

②エコツアーHPから申込

<https://yokosuka-ecotour.jp/>

問合せ先

横須賀市環境政策部自然環境共生課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話: 046-822-9749

e-mail: sato-eco@city.yokosuka.kanagawa.jp



「鷹取山自然観察会」と「水辺公園友の会」が 第31回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞！！

国土交通省は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰する第31回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰の受賞団体（115団体）を決定しました。

市内からは、「鷹取山自然観察会」と「水辺公園友の会」の2団体が選定されました。

受 賞 団 体 の 活 動 紹 介

鷹取山自然観察会

活動場所：鷹取山公園及び公園周辺

当会は、平成23年から行っている自然観察会を契機として平成25年に設立し、鷹取山公園や周辺緑地からなる鷹取山を「自然観察できる里山にすること」を目標に活動しています。

主な活動は、毎月第2日曜日に一般の参加者を対象とした自然観察会を開催しているほか、地元小学校の自然観察に関する授業のサポートなどを行っています。

また、公園内において樹木板の設置、野鳥保護のため巣箱づくりと巣箱掛け、園内掲示板を活用した四季折々の植物、蝶、野鳥などのポスター掲示など、自然と親しむ活動を行っています。平成28年には「鷹取山の自然観察ガイドブック」の春夏編、秋冬編を作成し、観察会で活用するとともに地元小中学校の教材として配付しました。

さらに、毎月会員によって植物相や鳥類、蝶類などの生き物調査を行い、その結果を会報などで発信し、地域生態系の保全に役立つよう積極的に取り組んでいます。



水辺公園友の会

活動場所：光の丘水辺公園

当会は、「かつての里山の自然環境を再生・保全するとともに、三浦半島の動植物を再生・保護し、市民の憩いの場とする」という思いに賛同する有志によって、平成12年4月に発足しました。

活動は、開発に伴う造成により、一度は失われた池、湿地、樹林地などの自然環境を、環境アセスメントを踏まえて再生した「光の丘水辺公園」において、行っています。

具体的には、池と湿地の管理や、植樹や伐採などの樹林地管理、植物や昆虫、両生類などの調査・保護、外来生物の駆除などを行っています。また、一般向けの自然観察会や子ども向けの自然教室、校外活動への協力、来園者の案内、会報誌の発行などを行っています。

こうした活動により、光の丘水辺公園は、植物や昆虫などが再生し、里山の自然環境を楽しむことが出来る、多様な水辺環境を持った貴重な公園となっています。



令和3年(2021年)春に開催される 全国「みどりの愛護」のつどい の開催地が横須賀市に決定しました！！

主 催：第32回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会
(国土交通省、神奈川県、横須賀市)

開催時期：令和3年(2021年)春

会 場：中央公園、横須賀市文化会館

行事内容：「みどりの愛護」功労者への表彰、「みどりの愛護」活動事例紹介、記念植樹等
横須賀市HP：<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4115/midorinoaigo.html>



季節の自然図鑑



第38回 夏の夜に現れる！砂浜のハマダンゴムシ

私たちに身近な生きものの一つにダンゴムシ（甲殻類の仲間）がいます。今回取り上げるハマダンゴムシは、私たちがふだん目にする多くのオカダンゴムシとは別の種で、体が大きく、色や模様がさまざまで、眼（め）が大きく、脚（あし）も太く、砂浜海岸にのみ生息しているという特徴をもちます（第1図）。

博物館では、毎年8月に天神島臨海自然教育園で「夜の昆虫かんさつ」という行事を開催し、砂浜海岸で夏の夜に現れる昆虫など小さな生き物を観察しています。明かりで虫を集める仕掛けであるライトトラップに集まる昆虫の観察とともに、行事の参加者には、砂浜を歩き回るハマダンゴムシを観察してもらっています。

この行事でハマダンゴムシを取り上げる理由は、ちょうど観察を行う時間帯（午後7時半～8時過ぎ）に、ハマダンゴムシが砂の中から地表に出てくることにあります。この時間帯、砂浜の表面は日中とは違ってひんやりと感じられます。ハマダンゴムシが暮らす砂の中の温度環境を調べるため、天神島では砂浜の表面ならびに地下5～20 cmの温度変化を測定しました（第2図）。地表の温度は正午～午後1時過ぎにかけてピーク（約60℃）になりますが、地下5 cmではピーク（42～44℃）は午後3時頃へとズレます。地下10 cmでは午後6時頃にピーク（37～38℃）となり、地下20 cmでは午後9～11時頃にピーク（33～34℃）となります。つまり、砂浜では日中から真夜中にかけて、砂の表面と中とで温度の高低が逆転することが分かり、ハマダンゴムシが夜に砂浜を歩きまわるのは、温度環境の面からも理にかなっているのではないかと考えました。

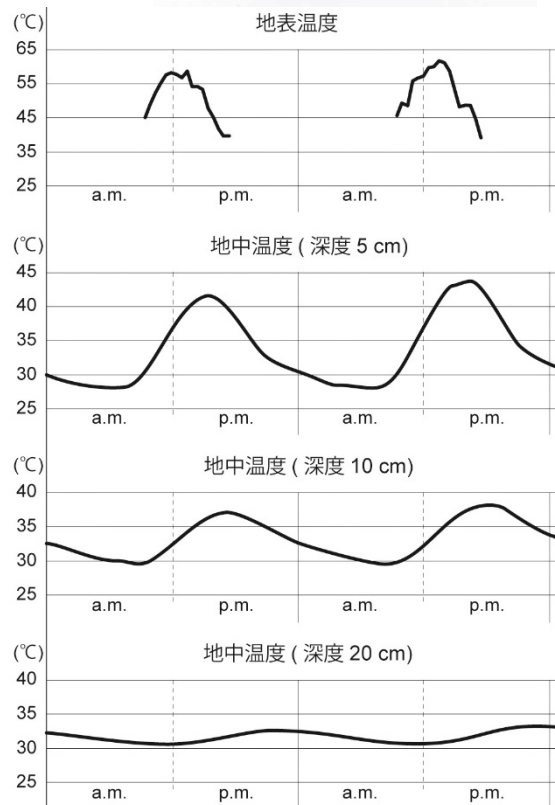
ハマダンゴムシは夜、砂浜に打ちあがった海藻など（第3図）のほか、砂地に生える植物を食べることもあります。近くの砂浜にハマダンゴムシは見られるでしょうか。見つけたら博物館に教えてください。



第3図 夜、砂浜に打ちあがった海藻に群がるハマダンゴムシたち



第1図 ハマダンゴムシ



第2図 地表および地中の温度変化。地表温度は計測器の事情により午前9時～午後5時までの値のみ表示。

第2図の出典：内船俊樹・馬場 正・長島さくら (2015) 天神島臨海自然教育園の砂浜海岸における夏季の日周温度変化」横須賀市博物館研究報告(自然), (62): 39-42.

横須賀市自然・人文博物館
内船俊樹

みなさまからのECOな情報を募集してます。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL: 046-822-8327 FAX: 046-821-1523

e-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

